

浮金小だより



発行：平成30年10月5日（金）

文責：浮金小学校長 松崎 健一

小野町小学校陸上記録会を実施！

2度にわたり延期となっていた小学校陸上記録会が、9月26日に小野新町小学校を会場に開催されました。本校の6年生代表である生天目光介さんが力強い選手宣誓を行い記録会がスタートしました。

参加する5・6年生一人一人が目標をもってこれまで練習に取り組んできましたが、コンディションを整え本番で持てる力を全て出し切り自己ベスト記録を出すことは大変難しいことです。結果だけを見れば、自分の記録に満足する子もいればそうでない子もいましたが、これまでの頑張りを見てきましたので、まずその過程を大いに褒めたいと思います。



小野町立浮金小



そんな中、女子ジャベリックボール投げでは、6年生の生天目恩さんが大会新記録及び自己ベスト記録の41m23cmで優勝しました。最後の3投目で初めての40m超えの大記録です。本人は勿論、一緒に練習してきた5・6年生も先生方も驚きとうれしさで一杯になりました。恩さんは、9月16日に開かれた福島県小学生リレーカーニバルでも38m23cmの自己ベスト記録を出して優勝しています。



大アッパシ！

小野町立浮金小学校2018



小野町立浮金小学校2018

給食試食会及び祖父母参観によろこそ！

9月21日、37名の祖父母の皆様と一緒に給食を食べました。いつもと違って好き嫌い言わずに食べる子がいたり、「もう食べられない」と、おばあちゃんに食べてもらおう子がいたり、とてもほのぼのとした楽しい時間となりました。

お昼休みの後は授業参観です。学校でのお孫さんの様子を見ていただくとともに、祖父母の皆様にも授業と一緒に参加していただきながら進めました。ありがとうございました。



【1年：図画工作科】



【2年：学級活動】



【3・4年：総合的な学習】



【5・6年：家庭科】

人権教室を実施

9月27日、5・6年生教室に町の人権擁護委員の皆さんがいらっしゃり、人権教室を開きました。「人権とは何か？」から始まり、今現在、いじめ、差別、虐待、悪口など、いろいろな人権に関する問題が生じていることを知りました。そこで自分たちにできることは何かを話し合い、人に対してあいさつすることや優しく接することが大切であることが分かりました。また、悩んだときは、抱え込まずに相談するようアドバイスがありました。



小野町立浮金小学校2018

歯科衛生士さんに学ぶ

10月1日

歯科衛生士の伊藤様を招いて歯科指導を実施しました。3・4年生と5・6年生それぞれに授業していただきました。むし歯や歯周病の原因となる歯垢を取り除くためには、日頃の歯磨きが大切であることを再確認しました。次に、子どもたちの磨き残しをチェックし正しい歯磨きの仕方を学びました。



税務署さんから学ぶ

10月2日

郡山税務署の鈴木様を招いて租税教室を実施しました。授業を受けた5・6年生は改めて税について身近なものであり大切な仕組みであることを学びました。



=空き瓶回収へのご協力ありがとうございました=

9月30日(日)、PTAによる空き瓶回収が行われました。台風24号が接近しておりましたが、嵐の前の静けさというのでしょうか、心配された雨や風もほとんどなく、多くの保護者の参加を得て回収作業ができました。回収に当たられた保護者の皆様、空き瓶の提供をしてくださった地域の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。



校長室より

先日、県小学校リレーカーニバルの応援に田村市陸上競技場に行った時のことです。競技場全体が見渡せる小高い所で小学生の頑張りを見ていました。すぐわきには競技場へ降りる結構急な階段があります。1000名を超える小学生が参加する大会なので応援の数も大変多く、その階段を利用する家族もたくさん目にしました。

3歳ぐらいでしょうか、階段に向かって走って来ました。するとその後ろから「〇〇止まれ！そこは階段だから危ないだろう！」と、母親の怒鳴り声がありました。その子はびたっと止まり、後ろから来た母親に右手をグイと捕まえられて階段を降りていきました。

今度は別の家族です。さっきのお子さんよりも幼い感じです。私の視界に入ったときから、母親と手を繋いで歩いていました。階段の所に来ると、「転んで怪我をしないように一つ一つ行こうね。」と、手をぎゅっとして話しかけています。子ども

は目を見開いて一步一步階段を降りていきます。

また別の家族です。今度はお父さんと一緒です。3歳ぐらいの男の子が階段に向かって走って来ました。すると、お父さんも一緒になって走って来ました。そして、お父さんは階段の2段ぐらい下に先回りして「転ばないように降りてみる！」と活を入れます。しばらくして階段下でハイタッチする親子の姿が見えました。

さて、学校では安全について「自分の命は自分で守る」とよく言います。そのためには、どこが、何が、どれほど危険であるかを知らないといけません。それをどう教えるかが難しくなってきました。危険な体験がほとんど無いので、言葉で説明されてもピンとこないようです。肝心なのは、目の前の子どもの成長に合わせて段階を踏んで豊かな体験をさせることです。

- ①手を離さず一緒に
- ②手を離しても目は離さずに
- ③目を離しても心は離さずに



町小中学校音楽祭に向けて練習を頑張っています。

